

# SHIRO NO MACHI 城のまち



vol. 23 2022.3.23

編集／「城のまち」広報委員会  
 福井県坂井市丸岡町霞町1-13-1  
 丸岡 城のまちコミュニティセンター内  
 TEL/FAX 0776-66-1276  
 ホームページ <http://www.shironomachi.jp/>  
 ツイッターアカウント shironomachi



## 丸岡城に関する近年の動き

竹吉 睦

コロナ禍での生活が三年目を迎えています。国内外への移動が控えられるなか、人影が疎らになったお天守の周辺を散策していると、雨に濡れた一つ一つの石垣が濃淡様々に発色し、野面積みならではの風情を感じさせてくれます。さて、以前、令和元年三月に坂井市教育委員会がまとめた「丸岡城天守学術調査報告書」において、現在の天守が、江戸時代寛永年間（一六二四〜一六四四年）に整備されたことが分かったことを紹介しましたが、その後進展がありました。

令和二年四月の福井新聞に、丸岡城調査研究委員会会長の吉田純一先生の記事が掲載されました。先生は論文のなかで、天守一階にある古い柱の墨書が「寛永五年三月」と解読できたことから、「寛永五年三月に丸岡城天守が建設中であつた」と結論づけています。

また、令和三年八月には、一筆啓上茶屋の移転を含む「丸岡城周辺整備基本計画」が発表されました。計画に基づいた調査により、東側日本庭園入口付近が掘り返され、内堀外側石垣の一部が確認されました。石垣の位置から、最大幅の内堀は予想より広く、一〇〇m近くあつたことが分かつたそうです。今後、県道に沿つた図書館の方向に調査が進められるとのこと。さらに、「基本計画」では、短期施策五カ年のうちに、一筆啓上茶屋の移転を含む霞ヶ城公園の再整備、遊歩道の整備、樹木の管理を含む城山の整備などがあげられています。

コロナが収束したころには、見映えよくスッキリとした景色のなかで、桜の海に浮かぶ丸岡城天守が見られるのではないかと、期待が膨らみます。

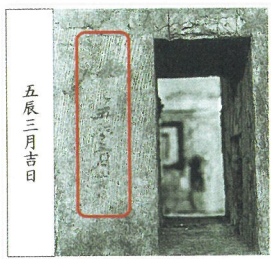


写真6 「に二」柱の墨書（脚元）



写真7 「に二」柱奥書の拡大



# 城しろのままちちのの街まち中なかでで星ほしを見みよう



丸岡城をバックに星空観察

立つて見え、星座を見つけやすかったりするので。さらに、城のまち「ミニ」ニティセンターは南に空が開けているため、季節の星座が探しやすい、真東には目印のように建っているお天守のおかげで、方角がすぐに分かります。また、望遠鏡を使った月や惑星（木星や土星等）の観察には、街明かりはまったく問題がなく、十分に楽しめます。そして何より、身近な場所で気軽に星空観察を楽しめるのが良いところですね。

## ★街中まちなかで見える星

— 城のまちは街中で明るくて、星を見るのに向いてないんじゃないの？ 建物だつて多いし—

そう思う方もいらっしゃるでしょう。でも—そんな城のまちのご真ん中でも、気軽に星空や宇宙に親しんでもらおうと、「城のまちdeほしみないと★」と銘打って、星空観望会が開催されました。

確かに、街中では、暗く開けた山や海のようにたくさん星を見ることができません。ですが、街明かりが多いと暗い星が見えにくく、明るい星が目

## 城しろのままちち de 大 ぼしほしみみないいと

第1回

10月2日(土) 19:00~20:00  
10月9日(土) 19:00~20:00  
望遠鏡で木星と土星を見よう

## ★木星・土星を見よう

記念すべき第1回目の『城のまちdeほしみないと★』は、当初、夏休みの



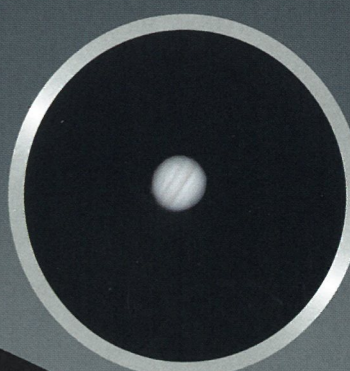
8月に「クレター、見てくれーたー？」と題して、望遠鏡で月のクレターの観察と、夏の大三角を探そうという内容で企画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて残念ながら延期。10月に改めて「木星と土星を見よう」と内容を変更して開催しました。最初に、星空案内人（星のソムリエ®）なーちゃんから木星や土星のお話。そのあと、望遠鏡でいざ観察！感染対策用の紙コッププロケットを接眼部にはめ、のぞいてみると、小さいながらもくつきりとした木星や土星の姿が！写真では伝わらない空気の揺らぎや、意外と早く視界から逃げていく天体の動きに、訪れた親子は感動を覚えたり、宇宙の不思議を感じ取ってくれた様子でした。望遠鏡の順番を待つ間は、なーちゃんと一緒に秋の星座探し。途中、ISS(International Space Station / 国際宇宙ステーション) が夜空を駆け抜けるサプライズも。まるで流



西の空に沈む金星と月



望遠鏡で見た土星



望遠鏡で見た木星

れ星のように動く様子が歓声が上がりました。遠く離れたISSにいる宇宙飛行士達に思いを馳せた瞬間でした。



ISS (国際宇宙ステーション)



わあっ！ISS、見えた！

## 城しろのままちち de ぼしほしみみないいと

第2回

1月29日(土) ①14:00~14:45  
②15:00~15:45  
城のまちのまちなかにプラネタリウムがやってきた！  
ミニミニプラネタリウムを作ってみよう！

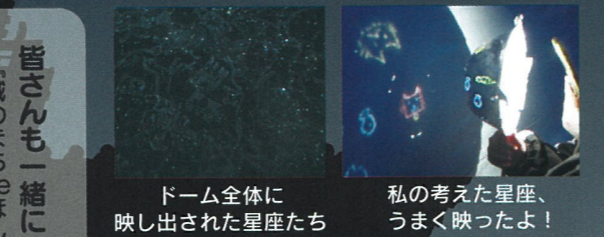
## ★親子で楽しむプラネタリウム

雪が降る1月の終わり。第2回目の『ほしみないと★』は、福井の冬でもお天気に左右されないプラネタリウムで楽しんでもらいました。まずは星空案内人なーちゃんと一緒に手作りプラネタリウムにチャレンジしました。材料はなんとザルとアルミホイル。星座盤を見ながらリアルな星空を再現しようとして、オリジナルの星座を作ったり、思い思いのプラネタリウムを作り上げました。

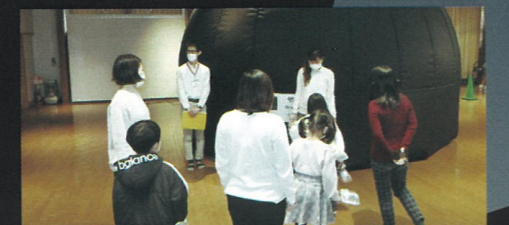
そして後半、さくらホールで待っていたのは、巨大なドーム！福井市自然史博物館様のご協力で、城のまちに移動式プラネタリウムがやってきました。ドキドキしながらドームに入り、各々の手作りプラネタリウムを壁に投



影すると、映し出された、世界に一つだけの星空に喜びもひとしお。そして、いよいよプラネタリウム投影！福井市自然史博物館の加藤学芸員のオペレーションと、なーちゃんによる冬の星座や天体などの星空解説、ふたご座にまつわる神話の朗読など、ロマンチックなひとときを楽しみました。



ドーム全体に映し出された星座たち  
私の考えた星座、うまく映ったよ！



いよいよドームの中へ！ドキドキ…ワクワク…

## 皆さんも一緒に ほしみないと★

「城のまちdeほしみないと★」にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。マスク越しでも皆さんの楽しんでいる様子が伺え、スタッフ一同大変うれしく思いました。感染対策の観点から、人数や時間を縮小しての開催となりましたが、今後も開催していく予定です。今回ご参加いただいた皆様も、新たに興味を持たれた方々も、一緒に夜空を見上げることができたら、とてもうれしく思います。皆様のお越しを、城のまちでお待ちしています！

また、「ほしみないと★」をつくりあげられるスタッフも募集しています。天文や望遠鏡に詳しい方はもちろん、宇宙や天文が好きの方、初心者も大歓迎です！興味を持たれた方は、ぜひ、城のまちコミュニティセンターまでお問い合わせください。みんなと一緒に、「城のまちdeほしみないと★」！





秋深まる紅葉の美しさに釘付けのみなさん

夢先案内人 **増田 由美子** さん  
(現役バスガイド)  
演出プロデュース **北川 誠一** さん  
臨場感あふれる映像と、プロの巧みなガイドでバーチャルな旅を演出して下さったお二人です。

参加したみなさんからの感想

☆足が丈夫ではないので、バーチャルバスツアーは最高でした。

☆小浜から丸岡に嫁いだので、子どもの頃に遊んだ神社やお寺が懐かしかった。

☆またこのようなバスツアーに参加したい。

☆本場に嶺南に行ってきたみたいだったわ。

☆お土産までもらって楽しかったわ。

嬉しい声をたくさんいただきました  
(\*´▽`\*)



最後は旅の思い出に「ハイ、チーズ!!」



オリーブオイルソムリエの中辻宏史さん



テイスティングに使われた世界各国のオリーブオイル

## オリーブオイル講座

コミセン短期講座

日本人の食卓にも欠かせない存在となったオリーブオイル。12月17日(金)、オリーブオイルの基礎知識や楽しみ方、正しい選び方や保存の仕方などをオリーブオイルソムリエから学びました。

特にオリーブオイルに含まれる「オレイン酸」がもたらす効果の素晴らしさ、良質なオリーブオイルを摂取するメリットを興味深く教えていただきました。

また、5種類のオリーブオイルをテイスティングする体験もあり、嗅覚と味覚で状態がよいオイルか、どんな料理に合うのかを参加者は吟味していました。「私は〇番が好き、〇番は苦手」など、様々な意見が飛び交い、オリーブオイルの奥深い世界を体感しました。



いよいよ出発です！期待に胸が高まります

## コミセン de 旅しよう！

丸岡城のまち、のうねの郷、  
のうねの郷第二  
コミセン共催講座

**バスに揺られて向かった先で目にしたものは…**

コロナ禍で見つけたあたららしい旅のカタチ。世界とつながる福井県をテーマに、12月2日(木)丸岡城のまちコミュニティセンターで、『バーチャルバスツアー福井嶺南の旅』が開催されました。

バスの乗車券を手にした32名の乗客が会場に入ると、そこはまるでバスの中。巨大スクリーンが車窓を演出して、夢先案内人とともにお出迎え。さあ、旅の始まりです。

バスは丸岡インターより高速道路に乗って、昨年10月にオープンした「道の駅南えちぜん山海里」へ。お買い物とトイレ休憩があり、旅しながらの演出でした。

一行を乗せたバスは、本日の最大の目的地「三方五湖レインボーライン・天空のテラス」へ出発。山頂から見る眺めは絶景の一言。低い山々の谷間にちりばめられた三方湖・水月湖・菅湖・久々子湖、日向湖の五つの湖がかもしだす微妙な色合いは神秘的です。バーチャルとは思えない映像の美しさに心が癒されます。また、三方五湖を眺めながら、オートハープの伴奏で「ふるさと」をみんなで大合唱をして、旅の気分がより一層盛り上がりしました。そして、山頂公園に広がるオシャレなテラスで休憩したり、360度の大パノラマの景観を楽しみました。

旅はまだまだ続きます。次に向かうのは情緒あふれる秋の小浜。久須夜神社・神宮

寺・明通寺の文化財めぐり。まるで本当にお寺を散策しているみたいで、映像に魅了されました。

最後に訪れたのは、若狭の蘇洞門めぐり。遊覧船に乗って、日本海の美しさ、若狭湾の素晴らしい景観を堪能しました。楽しかった旅も終わり。丸岡城の明かりがみなさんをお送りし「お帰り」を迎えてくれました。バスから下車したみなさんには、丸岡にちなんだお土産が渡され、家路に着きました。

コロナ禍で不便な生活を強いられつつありますが、ここから見えてきた新たなバーチャルの旅も良いものだと思えてきました。そして、地元の魅力を再発見する楽しい旅となりました。









# コミセン活動スケッチ

## いあつわり



城のまち区長会  
会長  
戸田 秀治

令和四年の城のまち地区の区長会会長をお受けすることになりました南霞四区区長の戸田秀治です。何卒宜しくお願い申し上げます。

ご存じのように、昨年から続いているコロナ感染が未だに収まりを見せていません。福井県でも連日二百人以上の感染者が発生しています。皆様にはお身体にくれぐれもご自愛下さい。

さて、丸岡城をめぐるプロジェクトが始動しています。私の家は丸岡城の真下にあります。子供の頃（小学低学年）は毎日のようにお城で忍者やチャンバラごっこをして遊び、冬になり雪がつもれば、お城の色々な坂でスキーを楽しんだ思い出があります。一番お気に入りの坂はお城の北側（平章校側）の坂で、斜面も急で長さもありました。ですから、時には道路を横切り平章校のグラウンドまで到達することもありました。そんな思い出のある丸岡城周辺もプロジェクトで大きく変貌しようとしています。プロジェクトの当該地区に住む住人の一人としては少々寂しい気持ちも禁じえません。最後になりましたが、城のまち区長会の皆様と共に一年間精一杯務めさせて頂きました。どうぞご理解とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



👍 やってみようピクス!



👍 はじめてさんのスマホ教室



👍 気軽に立礼式お抹茶



👍 子ども茶道教室



👍 子ども生け花教室



聖火ランナー  
異町 三澤 敏子 さん(74才)

**聖火リレー 笑顔と感謝の気持ちを込めて**

令和三年五月三十日、午後五時二十分、丸岡町のメインストリート中谷バス停から聖火を掲げて、私は出発しました。

沿道からの沢山の声援と城のまち横断幕、甲冑姿での応援で、無事八幡町交差点で、次のランナーに繋げることができました。

沿道の皆さんが喜々として楽しんで下さっている一体感が、最高に嬉しかったです。

毎日運動を心掛けるにはウォーキングが最適だと思います。

**健康に感謝!!**




日本ハムファイターズの新庄BIG BOSSが斬新な話題提供で世間の注目を集めています。まち協としてもコロナに負けず、明るい話題作りをしていきたいものです。

(FALCON)

北京オリンピック冬季大会が終わって早や一ヶ月が過ぎました。あの時の選手たちの活躍はコロナ禍の暗い世の中に「希望の明かり」を灯したような気がしました。特に十代の若いアスリートたちが演じたフィギュアスケートやスキー、モーグル、スノーボードなどは目を張るものがありました。小さい頃から、ひとつの物事に一生懸命努力し、最後まで諦めない姿を見せていただき

気と勇気ももらいました。

このような若者がいる「日本」まだまだ捨てたものではないですね。

(お天守丸)

何よりも健康が一番、平和が一番。

(竹内)

今回初めて「城のまちdeほしめない」と銘打って「星のソマリエなーちゃん」の協力を得天体観望会などを実施したところ、参加者の皆さんに大変好評で来年以降も実施していきたいと思ひます。

(城のまち子)

編集  
後  
記